

<審査委員会特別賞（広報応援事業） 2団体>

■ 特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋（大阪）

「ともだちとであいなおすー釜ヶ崎地域の困難を抱える子ども達が新たな人間関係を獲得するためのワークショッププログラムー」

団体概要	<p>2003年大阪市の文化振興として空き店舗を活用した現代芸術の拠点形成を になう新世界アーツパーク事業に任意団体として参画し、2004年に特定非営利 活動法人化、2008年から西成区山王にインフォショップ・カフェコロールムを オープンして釜ヶ崎地域で表現活動を行ってきた団体である。</p> <p>主な活動は、釜ヶ崎の商店街でのインフォショップカフェ、メディアセンターの 開設、萩之茶屋地区でのマンションの管理と交流スペース運営である。</p>
事業概要	<p>日雇い労働者の街として知られる釜ヶ崎においては、困難な家庭環境に育つ子ど もが多く、固定化された人間関係の中で閉塞した生活を強いられている。本事業は、 子どもの施設2箇所アーティストを派遣し、月一回のワークショップを5ヶ月間 行うものである。</p> <p>表現活動を通して自尊心が育まれ、アーティストと外部からの参加者が訪れるこ とで新たな人間関係が生まれ、子ども達がより多くの社会資源と接点を持つこと が、困難状況から抜け出す契機となる。</p>

■ チーム PREドクターズ（奈良）

「復活、現代版・寺子屋！医大生が地域の子どもの育みを支えます」

団体概要	<p>医大生が、医学のみならず人と関わっていく様々な活動を通して、自身の人間力 の向上を目指し、さらに医学界を含む社会に対して何らかの形で貢献していきたい と思い、2010年4月に設立した団体である。</p> <p>具体的には、①老人ホームや東日本大震災等でのボランティア活動、②JAXA 宇宙医学実験採択をはじめとする医学的研究を目的としたサイエンティフィック ・リサーチ、③タイカレー等での起業と維持管理等の活動を行っている。</p>
事業概要	<p>当事業は、奈良県医科大学のすぐ近くにある南八木町の空き町家を改装し、そこ を地域の人達に開放したコミュニティスペースとして、同時にその中で、医大生が 勉強を子どもに教える寺子屋をつくる事業である。</p> <p>1階には、コミュニティスペースと共に、地域の天然食材をつかったカレー食堂 を営業し、2階には、医大生の特徴を活かしたアフタースクールとしての機能を備 えた寺子屋と、学生とまちの人との交流のためのアトスペース・貸しスペースを 設け、人が集まり、子ども達を育てていく場所を目指している。</p>

(50音順)